１年生の生活の様子

１年担任

大東小の仲間入りをして、早いもので二か月が経ちました。１９名の元気いっぱいな１年生は、学校生活にも慣れてきて、勉強に運動にと日々頑張っています。

新しいことにワクワクしながら取り組んでいる子供たち。「みんなで勉強する」ということを意識しながら過ごすことが少しずつ上手になってきました。優しく穏やかな気持ちで友達と接することができます。「それいいね！」「ありがとう」と前向きな言葉掛けが増えています。素晴らしいです。また、次の授業に間に合うように時間を子供たち同士の中で意識して行動することや、一人一つの朝顔のお世話、日直・当番活動など、できることが毎日増えてきています。

保健指導について

養護教諭

毎年４月から６月にかけて定期健康診断を実施しています。１年間児童が健康に生活できるように保健室で養護教諭が実施する検査や学校医の先生方に来校していただき行う検診もあります。

４月、９月、１月の学期ごとに身長、体重を計測しています。その時間を使って、その時期やその学年に応じた保健指導を実施しています。子どもたちは真剣に話を聞いてくれています。今だけではなく将来大人になった時にも役に立つような内容となるよう工夫して指導をしています。「あ、この話聞いたことある！」と大人になっても思い出してもらえるような、健康な生活を送るための指導を引き続き実施していきたいと思います。

代かき・田植えについて

５年担任

５年生は社会科や総合的な学習の時間で米についての学習をしています。その一環として、地域の方のご協力とご支援の下、学校園の田で米づくりを行っています。田んぼの泥の中に裸足で入り、代かきをしたり田植えをしたり、普段の生活ではなかなか体験することができない作業に子供たちは楽しそうに取り組んでいました。米づくりの大変さの一端を味わい、食べ物を大切にしたいといった気持ちや、米づくりのご指導くださった地域の方々に対する感謝の気持ちをもつことができ、大変有意義な学習になっています。

生命尊重週間について

人権教育担当

各学校、１年間の中で、児童に生命を尊重する教育を推進することを目的に生命尊重週間を設けるようになっています。本校では、６月１３日（月）～６月１７日（金）を生命尊重週間と設定しました。期間中、

各学級で「生命尊重」をテーマに道徳の授業を行ったり、講話を聞いたりと生命について子供たちが考える機会を多く設けていきます。児童一人一人が生命の尊さを感じ、自他の生命を大切にしようとする意識をもち、心情の成長が促されることを期待しています。ご家庭でも「生命尊重」について話題にして頂けると幸いです。